

一般社団法人日本解剖学会 2021 (令和3) 年度第6回常務理事会議事録

日時：2021 (令和3)年12月4日(土) 10:00～13:30

場所：A P東京八重洲通り（7階Qルーム）とZoomによるハイブリッド開催

出席者：渡辺 雅彦（理事長）、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一（以上、常務理事）、市村浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀（以上、常任幹事）、穴戸 基行、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2021(令和3)年度第5回常務理事会（2021 (令和3)年9月12日開催）議事録（案）
- (2) 2021(令和3)年度第7回理事会（2021 (令和3)年9月13日-21日開催）議事録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

・令和3年9月分

入会者：正会員 6名、学生 6名

退会者：正会員 3名、永年会員1名

・令和3年10月分

入会者：正会員 14名、学生 14名

退会者：正会員 2名

・逝去会員3名

山田 和順 氏（名古屋市立大学・名誉教授／名誉会員）令和2年11月22日逝去（満93歳）

飯島 忠彦 氏（九州大学・名誉教授／元・学術評議員）令和3年11月4日逝去（満79歳）

加賀山 學 氏（東北大学・名誉教授／元・学術評議員）令和3年11月16日逝去（満82歳）

・新規就任教授2名

井関 祥子 先生（東京医科歯科大・歯・分子発生学・教授 平成20年1月1日就任）

近藤 誠 先生（大阪市大・医・器官構造形態学・教授 令和3年10月1日就任）

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

・KAAより「IFAA 1st Webinar開催のご案内」他65件

・書籍・定期通信 他：日本学術会議より「学術の動向 2021.9」寄贈 他15件

(3) 支部代議員会報告

各支部より報告。資料に基づき、第67回東北・北海道連合支部代議員会（令和3年9月5日(日)Web開催）、第109回関東支部代議員会（令和3年9月11日(土)Web開催）、第81回中部支部代議員会議（令和3年10月16日(土)Web開催）、第75回中国・四国支部代議員会（令和3年10月30日(土) Web開催）、第77回九州支部代議員会（令和3年10月23日(土)Web開催）での議事録の内容が報告された。

(4) 解剖実習室のホルマリン濃度測定、献体による外科手術手技研修に関するアンケートについて

資料に基づき、2021年10月から11月にかけて行われた、解剖準備室および解剖実習室のホルムアルデヒド作業環境測定、献体による外科手術手技研修についてのアンケート結果が報告された。分析結果は解剖学雑誌にて公開することが確認された。

(5) その他

特になし。

2. 編集報告

(1) ASIについて

資料に基づき、ASIの2020年インパクトファクターが1.741に上昇したことが報告された。また、License to Publish (LTP) に署名したこと、2022年よりシュプリンガーからの請求に消費税が含まれる件が報告された。

(2) 学会ホームページSSL化について

資料に基づき、セキュリティ向上のため、学会ホームページのSSL化が完了したことが報告された。

(6) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2021(令和3)年度奨励賞について

賞・研究費候補者選考委員会が12月6日（月）に開催されることが報告された。

(2) 一級ならびに二級認定技術者審査結果について

資料に基づき、一級技術者の応募が今年は無かったこと、二級技術者1名の資格審査合格の判定結果が報告された。

(3) 2022(令和4)年度第127回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、第127回日本解剖学会総会・全国学術集会はオンラインとリアルタイムZoom配信のハイブリッドで開催予定であること、また、その準備状況が報告された。

(4) 2023(令和5)年度第128回総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、第128回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について、東北大学の川内キャンパスにて開催が予定されていることが報告された。

(5) 日本医学会・日本医学会連合報告

資料に基づき、日本医学会役員選挙の結果、日本医学会連合の「新型コロナウイルス感染症による他疾患等への影響調査研究」への協力、日本医学会120周年記念事業への協力、優性遺伝・劣性遺伝の奨励代替用語が決定されたことが報告された。また、日本医学会の分科会活動報告とあわせて、日本医学会への要望事項として、解剖技術職員の確保と処遇改善についての要望を全国の医学部・歯学部をおく大学の学長、医学部・歯学部長あてに発出したことが報告された。さらに、日本医学会からCOI管理ガイドラインの改定案への加筆・修正の有無を調査するアンケートがあり、倫理委員会とASI編集委員会において回答案を作成したことが報告された。

(6) 生物科学学会連合報告

資料に基づき、第23回定例会議（2021年5月27日開催、寺田常務理事出席）の内容として、役員等選任結果、事業・会計報告、事業計画、第31回国際生物学オリンピック2020長崎大会の収支決算等が報告された。

(7) 日本脳科学関連学会連合報告

資料に基づき、第20回評議員会（2021年6月30日開催、渡辺理事長、寺田常務理事、岡部監事出席）の内容として、運営委員等選挙結果、脳科学オリンピックの状況、新たに設置される産学連携諮問委員会に対する解剖学会

関係者の対応等が報告された。脳科連事務局業務を公益財団法人農学会に委託することに伴い、年会費を6万円に増額したいとの提案があり、第7回理事会（メール審議）において、これを了承したことが報告された。

(8) 若手研究者の会について

資料に基づき、次回全国学術集会における活動内容（企画シンポジウム、ランチョン企画、ティータイム研究者交流会、若手研究者の会 春の学校）が報告された。また、教育・研究に関する情報交換を行える掲示板を準備中であることが報告された。

(9) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）

・2021年度（第127回）全国学術集会におけるJAA-KAA合同シンポジウムに下記の3名をJAA演者としてプログラム委員会に推薦したことが報告された。

・柏木 有太郎 先生（東京大・医・神経細胞生物学）

・藤田 幸 先生（ペンシルバニア大）

・植村 武文 先生（福島県立医大・解剖・組織学）

・第10回APICAはオーストラリアとニュージーランドによる合同大会であることが報告された。

・第20回IFAA（2021年8月6～8日、イスタンブール開催）は新型コロナウイルス感染症の拡大のため、2022年に延期となったことが報告された。

(10) その他

特になし。

1. 会計報告

(1) 支部学術集会決算について

資料に基づき、下記の支部学術集会における収支決算が報告された。また、収支決算報告書の様式が支部間で異なっており、今後は様式を統一することが確認された。

・第67回東北・北海道連合支部学術集会

・第81回中部支部学術集会

・第75回中国・四国支部学術集会

・第77回九州支部学術集会

(2) 2021（令和3）年度総会・全国学術集会収支決算について

資料に基づき、2021（令和3）年度総会・全国学術集会における収支決算が報告された。

(3) 2021（令和3）年度中間決算書について

資料に基づき、2021（令和3）年度10月次中間決算が報告された。

(4) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) 日本外科学会CST推進委員会報告

資料に基づき、（株）HOKUTO社から「臨床医学の教育及び研究における死体解剖ガイドライン」を同社の臨床支援アプリケーション（最新のガイドラインを検索・閲覧できる）に収載したいとの依頼が解剖学会理事長あてにあったことが報告された。本件を日本外科学会へ連絡し、同CST推進委員会、同理事会で協議した結果、本依頼が承諾されたことも報告された。

(2) 会員名簿2022について

資料に基づき、会員名簿2022版を本年度末に会費の未納がない正会員へ発送予定であることなどが報告された。前回の名簿（2016版）は希望者へのみ販売したが、名簿は会員交流の重要なツールであることから、2022版は正会員に無料で頒布することとなった。

(3) 小澤理事の支部異動に伴う関東支部理事欠員補充について

資料に基づき、小澤理事が支部異動（日本医大から佛教大への異動）のため、来年3月31日付で関東支部理事を辞任することが報告された。また、後任は、定款第23条2項、役員選出細則第5条の規定により、次点の阪上洋行先生（北里大）が繰り上げ理事となることから、理事会に報告後、本人の意思確認を行う予定であることが報告された。

(4) 京都大学霊長類研究所共同利用・共同研究拠点化見送りについて

資料に基づき、京都大学霊長類研究所から同研究所の「共同利用・共同研究拠点」への継続申請は見送られ、組織改編される旨の連絡があったことが報告された。

(5) 愛媛大学プロテオサイエンスセンター共同研究拠点化認定について

資料に基づき、愛媛大学プロテオサイエンスセンター（PROS）から同センターが「共同利用・共同研究拠点（プロテオインタラクトーム解析共同研究拠点 PRiME）」として認定された旨の連絡があったことが報告された。

IV. 審議事項

1. 休会申請について（庶務）

資料に基づき、2名の出産・育児による休会申請について審議の結果、了承された。

2. 教授就任による代議員の承認について（庶務）

資料に基づき、以下の2名の教授就任に伴う代議員申請が審議の結果、了承された。

井関 祥子 先生（東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 分子発生学分野、2008年1月1日就任）

近藤 誠 先生（大阪市立大学大学院医学研究科 器官構築形態学、2021年10月1日就任）

3. 名誉会員・永年会員の推薦について（庶務）

資料に基づき、以下の2名の名誉会員推薦、ならびに29名の永年会員推薦について、理事会で審議することが了承された。

高田 邦昭 先生（群馬大学、永年会員歴 2017年度）

河田 光博 先生（京都府立医科大学、永年会員歴 2017年度）

4. 申請による代議員について（庶務）

資料に基づき、以下の7名に関する代議員申請について、規定・申し合わせに反しないことから、理事会で審議することが了承された。

堀江 正男 先生（新潟県立看護大学 看護学部 自然科学領域）

尾形 雅君 先生（東北医科薬科大学 解剖学教室）

江原 鮎香 先生（獨協医科大学 解剖学教室）

小林 裕人 先生（山形大学 医学部 解剖学第一講座 形態構造医学）

小西 博之 先生（名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学 第2解剖学）

大道 裕介 先生（金沢医科大学 医学部 解剖学Ⅱ）

亀高 諭 先生（名古屋大学 大学院医学系研究科 総合保健学専攻 バイオイメージング情報科学講座）

5. 解剖体を用いた研究ガイドライン改訂について（庶務）

資料に基づき、令和3年度改訂版の変更案について、理事会で審議することが承認された。

6. 日本医学会「COI管理ガイドライン」一部改定に関する対応について（庶務）
資料に基づき、修正について理事会で審議することが承認された。
7. 解剖学雑誌の充実について（編集）
資料に基づき、年2号化、ならびに内容の充実についての説明があり、理事会で審議することが承認された。
8. 2021（令和3）年度認定技術者功労賞について（企画渉外）
資料に基づき、申請があった1名の受賞について、理事会で審議することが了承された。
9. 生科連「DORA署名に関するご検討のお願い」について（企画渉外）
資料に基づき、生科連を介した解剖学会からのDORA署名への賛同の可否につき理事会で審議することが了承された。
10. 積立金規約一部改正について（理事長）
資料に基づき、用途の明確化のための積立金の運用規約の改正について説明があり、理事会で審議することが了承された。
11. 全国学術集会時の役員会と定時社員総会対応について（理事長）
資料に基づき、全国学術集會会期外における役員会出席に伴う旅費・宿泊費について、学会からの旅費の支給の検討を行うことを、理事会で審議することが了承された。
12. 2025(令和7)年度総会・全国学術集會開催校について（理事長）
資料に基づき、2025年の日本生理学会・日本薬理学会との合同学術集會の開催校について、北海道大学からの開催希望の届け出があり、理事会での審議を行うことが了承された。
13. 2022(令和4)年度事業計画案について（理事長）
資料に基づいて説明があり、理事会での審議を行うことが了承された。
14. 2022(令和4)年度仮予算書案、ならびに事務委託契約について（会計）
資料に基づいて説明があり、理事会での審議を行うことが了承された。
15. その他
次回・次々回の常務理事会の日程は以下のようになった。
(第1回)
日時 2022(令和4)年2月5日（土）13:00～16:00
会場 口腔保健協会
※ハイブリッド形式で実施
(第2回)
日時 2022(令和4)年3月26日（土）10:15～12:00
会場 あべのハルカス（25階：会議室A+B） ※ハイブリッド形式で実施
⇒終了後、支部長会（12:00～12:30）、理事会（12:30集合・昼食、13:00～16:00）